

<p>学校教育目標 自ら輝け 夢をつかめ ～笑顔・感動 はつらつ植水～</p>	<p>学校だより</p> <p>瑞 穂</p> 	<p>令和6年度11月号 令和6年11月1日 さいたま市立植水中学校 HP uemizu-j@saitama-city.ed.jp</p>
-------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

## 心をひとつに

校長 太田 鋭一

木々の葉が少しずつ黄色や紅みを帯びはじめ、秋の深まりを感じる季節となりました。

芸術の秋、10月30日（水）に彩の国さいたま芸術劇場において合唱コンクールを開催いたしました。素晴らしいホールをお借りして、保護者の皆様や来賓の方々にも御参観いただき開催できたことを大変嬉しく思います。生徒たちは、合唱コンクールに向け、連日、音楽の授業だけではなく放課後も練習に一生懸命取り組んでいました。校舎内を歩いていると、生徒たちの歌声が響いてきて、心を潤してくれました。どのクラスの歌声も熱が入っており、音の強弱やハーモニー等に感情が込められており、日に日に完成度が高まっているのを感じました。練習の様子を眺めていると、合唱コンクール実行委員や指揮者や伴奏者、パートリーダーの生徒達が「こうしたら、もっとよくなるよ」と皆にアドバイスし、「よし、そうしよう」と声を掛け合いながら練習に取り組んでいました。笑顔で歌声を合わせ、仲間と共に合唱を創り上げる喜びを感じながら合唱の練習に取り組んでいる様子を見ていてとても心が温まりました。合唱コンクール当日は、生徒皆さんだけでなく来場した会場の皆様にも合唱の素晴らしさをたくさん届けることができたのではないのでしょうか。合唱とはその字が示すとおり、複数の人が歌声を合わせるものです。歌を歌うメンバーの心がそろった分だけ歌声も揃います。合唱コンクールに向けた取組を通して、心をひとつにし、一つの目標に向かって仲間と協力し、力を合わせて取り組むことの楽しさや喜びを感じたことでしょう。合唱コンクールが終わった数日後の朝、いつものように正門の前で登校してくる生徒とあいさつを交わしていた時、3年生のある生徒が「校長先生、中学校生活最後の合唱コンクールを素晴らしい会場で開催していただき、本当にありがとうございました。感激しました。」と言いに来てくれて嬉しく思いました。合唱コンクールを楽しんでもらえてよかったという感想とともに、「ありがとうございます」という言葉は伝えた相手に大きなパワーを与える素晴らしい言葉だなと改めて実感した一場面でした。私もその生徒に「最高の思い出になりましたね。こちらこそ素晴らしい合唱を聞かせてくれてありがとう」と伝えました。一人ひとりの心が通う学校づくりを目指して、学校だけではなく、御家庭や地域の方々に対しても、積極的に気持ちのよいあいさつや返事、心をこめた素直な言葉を交わすよう指導してまいります。保護者の皆様方・地域の皆様方、よろしくお願いたします。